

### 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0871200218		
法人名	医療法人 永慈会		
事業所名	ひたちの森 スマイルハウス太田①		
所在地	茨城県常陸太田市磯部町90-1		
自己評価作成日	平成21年7月29日	評価結果市町村受理日	平成21年9月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人認知症ケア研究所		
所在地	茨城県水戸市酒門町字千束4637-2		
訪問調査日	平成21年9月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームの理念として、「ご本人の持っている力を最大限に発揮して、良い状態を一日でも長く保ち最後まで生きる喜びを持って生きられるように、日常生活の介護を通して安心と尊厳のある生活を支援していきます。を基本とし「足腰強化」「体力増強」「脳の活性化」「リラクゼーション」「生きる喜び」の5つが実感できるよう支援していきます。ひたちの森スマイルハウス太田内でのレクリエーションはもとよりファミリーレストランでの食事、お花見、りんご狩り、野菜の収穫、ひたちの森グループでの運動会・夏祭り・文化祭・おもちつき等、いろいろなものを企画運営し入居者様はもとよりご家族にも満足していただけるよう日々努力しております。

ホームは、幹線道路のすぐ傍に位置している。しかし、それらの条件を逆転の発想で「畑・花畑」などに有効活用され入居者の日常生活の中にもその事が有効に取り入れられていた。また、地域との交流を目的に地域の方と共に職員も協働し催し物の準備から手伝いまで積極的に行われていた。その努力もあり地域の小中学校の行事への参加・祭りなど様々な所に出掛けることができる試みがされていた。地域の方との交流も積極的に行われ避難訓練なども地域の方と共にするなど実践に向け活動されている様子が確認できた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作成し、各ユニット入り口に掲げている。ご利用者・ご家族・職員で共有している。	法人の理念と共にグループホーム独自の理念を作成している。その理念に基づき入居者・家族・職員と協働し実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	夏祭り・小学校の運動会・お餅つき等企画参加して交流を図っている。	ホーム独自の理念を基に地域住民と共に普通の生活ができるよう支援されていた。地域に回覧板なども回して貰っている。地域の運動会・祭り・ボランティアなどにも招かれている。また、法人の祭りにも地域の方が多数参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議や中学生の総合学習の受け入れ・高校生の職場実習等を受け入れている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス向上への取り組み等の研修を一緒に行っている。	会議には地域の自治会長・民生委員・市町村の担当者も参加している。当該会議において町内会の催し物・ホームの今後の予定及び報告等を行い情報の交換に活用している。参加者からの希望により、研修会も行っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	常陸太田市グループホーム協議会で市の職員との意見交換等をしている。不明な点があれば市の担当者に相談している。	利用者の症状が回復し自宅に退居する時など、綿密に打合せを行い自宅での生活が継続できるよう市町村はじめ、地域包括支援センター等と情報交換している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体的拘束その他の行動制限廃止マニュアル、等を作成している。月に1回委員会(各ユニット管理者)を開催して確認している。	職員に対し、定期的に研修会を実施しマニュアルも作成されている。また、ユニットごとに委員会を行い日常生活において拘束がないか確認しあいながら利用者の支援がされていた。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	平成21年3月6日(金)13:30~16:30常陸太田市生涯学習センター「ふれあいホール」にて茨城県保健福祉部長寿福祉課主催の平成20年度高齢者虐待フォーラム(第3回高齢者虐待対応職員養成研修)に3名参加。		

茨城県 グループホームわたちの森 スマイルハウス太田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者・職員は、研修等に参加し、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学び、円滑に対応できるよう努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	一生懸命説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置し対応しています。運営推進会議の際に外部にも公表しています。玄関に閲覧所を設けています。	各ホームの玄関にご意見箱を設置している。また、面会時家族と話す機会を多く持ち家族の意見を聞けるような方法をとっている。	ご家族は、事業所に対し苦情などの本当の思いをなかなか伝える事ができない事が多い可能性も考えられる。これからのサービス提供を充実させるためアンケートなどをとるなど家族の本音が聞ける試みを期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議や、毎日の仕事の中で意見や提案を聞いています。	日常の会話から職員の思いをくみ取る。職員会議で話し合うなど取り組んでいる。更に法人全体で内部監査を行うなどしながら、職員に対しては代表が1人ひとりと面談が行い意見を聞くなど行い職員は自由に話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が安心して働けるよう本部と話し合っています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパー2級講座の研修参加を呼びかけ、土日の勤務を調整しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	常陸太田市グループホーム連絡協議会参加し、意見交換をしています。運営推進会議への参加していただき、勉強会に参加していただいています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所時アセスメントで聞き計画書に反映させています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所時アセスメントで聞き計画書に反映させています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け付けた時点で、今必要なサービスは何か見極めフォーマル・インフォーマルなサービスの指導をしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共同生活介護を基本とし、自立支援を目指しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族とともに共同で介護していくことを入所時に確認しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会等を積極的に受け入れています。	自宅で1人暮らしをしていた方が、自分の家を心配している時などはその方の自宅に行ってみるなど行っている。また、四季折々の果物の収穫祭・馴染みの祭り等への参加など積極的に行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	普段からコミュニケーションの仲介や、法人全体の行事等に積極的に参加しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談された場合や、町であったときには積極的に話しかけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	計画書に反映させています。	病院から入居する、他施設から転居するなどのする方が多いため、入居前に自宅に訪問するなどそ方の日常生活を把握するような試みがされていた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時アセスメントや、普段の生活の中で話を聞くようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態等は、毎朝のミーティング時に全員に把握してもらっています。有する力等の現状の把握については、当法人の5つのテーマに沿って計画を作成し評価しています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族が面会に来たときや、当法人のリハ関係の方の意見を聞いたりしています。	利用者個々に担当者を決めているが、その他職員会議等において状態の把握をしながら作成されている。家族の意見等は面会時に聞き取りを行っている。	介護計画書作成において本人の言葉なども参考にしながらより具体的な計画書の作成をされたい。また、そのことにより利用者の日々の生活がより豊かなものになる事を期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を作成し、記入内容も当法人の関係者にチェックしていただいています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当法人の力を借りています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	積極的に地域の行事に参加したり参加を呼びかけたりしています。		

茨城県 グループホームひたちの森 スマイルハウス太田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当法人の居宅療養管理指導や、定期的な受診・検査を実施しています。	提携医療機関の医師が、2週間に1度往診に来ている。家族・本人が他科受診の希望がある時にはその意向に基づき対応できている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝のミーティングで変化のあったご利用者は永井ひたちの森病院へ状態報告のファックスを送信し受診の指示があれば送迎しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院状況の把握のために職員が面会したり、入院状況をFAXで聞いたりしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医に相談して家族職員の3者で話し合いをして決めています。	重度化に向けた対応を徐々に取り組んでいる。主治医は24時間対応できるよう支援されている。家族とは、入居時に話し合いを持ちその後も継続して相談を行っている。現在は緊急時は医療機関での対応を希望する家族が多いが今後は馴染みの環境での見取りも積極的に取り組む予定がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを備えています。AEDの使用方法を年に1回程度研修しています。マニュアルも備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定避難訓練や運営推進会議の際に町会長さんや地区の民生委員に協力を要請しています。	消防署と行う定期的な避難訓練を運営推進会議の時間帯とリンクさせ推進会議の委員は勿論の事地域住民の参加も促しながら訓練を行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念や計画書に盛り込み実践しています。	職員は、排泄・食事・入浴など生活場面において利用者一人ひとりのプライバシーを尊重し介護がされていた。また、契約時に書面にも個人情報に関する契約書が取り交わされていた。	個人情報保護に関する契約書に「写真掲載」などに関する事項も盛り込まれ、利用者・家族の個人情報保護がより守れるような取り組みを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に自己決定を基本として対応しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に自己決定を基本として対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎日声かけ見守りをして対応しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来るところは手伝っていただいています。	ホームで使用する食材はカロリー計算された食品会社の物を使用している。しかし、ユニットごとに工夫をこらし食事を作成している。また、外食の機会を設けるなど工夫をこらしながら支援されていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の記録に記入して確認したり、水分はコップやペットボトルで量を確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施しています。声かけや介助見守り等を行っています。		

茨城県 グループホームひたちの森 スマイルハウス太田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を使用したり日々の記録で確認しパターンを把握し声かけ誘導しています。	排泄パターン表を作成し個々の排泄のリズムを確認しながら支援されている。それらの努力により病院ではオムツ使用になってしまった方もトイレでの排泄ができるようになっている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分のチェックや運動に気をつけて対応しています。主治医と相談し整腸剤・下剤・浣腸等で対応しています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	拒否する方にも職員が代わって声かけしたり、小規模のお風呂に誘ったりして工夫しています。出来るだけ希望に沿った支援をしています。	入浴は、本人の生活・感情のリズムなどを調整しながら支援している。また、併設の温泉(大浴場)や露天風呂を有効活用し楽しみながら入浴できるような方法がとられていた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	リラックスできるよう運動やレクリエーションに気をつけています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員が薬を管理し、写真を利用し間違いのない様二人で確認しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時のアナムネの際や、普段の会話の中で、嗜好品、楽しみごとなどを確認しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	各ユニットごとに外出の機会を作って提供しています。	外出は、様々な方法で行われている。日常的には畑づくり・散歩をしたりしている。定期的に食事会・地域の祭り・催し物など出かけられそうな場面を沢山作るようにしている。	



茨城県 グループホームひたちの森 スマイルハウス太田

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に出かけたりして支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話を各ユニットに設置しています。手紙も頼まれたときには出してあげています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を出した飾り付けに気をつけています。季節の生花を飾ったり、月々の行事の飾り付けをしています。	共有のホールは、爽やかな風が通り抜ける空間であった。共有空間には畳の部屋も設置され、利用者が自由に寝転んだり、洗濯物たたみをしたり自由に使用されていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ロウソファーを使用したり畳を利用したり工夫しています。廊下に椅子を置いたりして居場所を工夫しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使いたいものをおけるよう声かけています。	入居にあたり家族にご本人が大切にしていた物の持参を促している。家族の写真などを部屋に飾ってある。	新しく入居される事が決まった時点で自宅訪問を行っている。その時ご本人が生活の中で大切にされていた物を持って入居される事の大切さをご家族に知っていただき馴染みの物が一つでも多く居室に置けるよう支援していただける事を期待する。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お部屋に洗面台があり自分で歯磨き等できるようになっています。		

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54	新しく入居されることが決まった時点で自宅を訪問を行っている。その時本人が生活の中で大切にされていたものを持って入居されることの大切さをご家族に知っていただき馴染みの物が一つでも多く居室におけるよう支援していただけることを支援する。	本人が生活の中で大切にされていたものを持って入居されることの大切さをご家族に知っていただき馴染みの物が一つでも多く居室におけるよう支援する。	新しく入居されることが決まった時点で自宅を訪問を行っている。その時本人が生活の中で大切にされていたものを最低一つは借りてきます。	1ヶ月
2	26	介護計画書作成において本人の言葉なども参考にしながらより具体的な計画書の作成をされたい。また、そのことにより利用者の日々の生活がより豊かなものになることを期待する。	利用者の日々の生活がより豊かなものになる。	介護計画書作成において本人の言葉なども参考にしながらより具体的な計画書の作成をいたします。	1ヶ月
3	36	個人情報保護に関する契約書に「写真掲載」などに関する事項も盛り込まれ、利用者・家族の個人情報保護がより守れるような取り組みを期待する。	個人情報保護に関する契約書に「写真掲載」などに関する事項も盛り込み、利用者・家族の個人情報保護がより守れるよう取り組む。	個人情報保護に関する契約書に「写真掲載」などに関する事項も盛り込む。	1ヶ月
4	10	ご家族は、事業所に対し苦情などの本当の思いをなかなか伝えることが出来ないことが多い可能性も考えられる。これからのサービス提供を充実させるためアンケートなどをとるなど家族の本音が聞ける試みを期待したい。	これからのサービス提供を充実させるためアンケートなどをとるなど家族の本音が聞ける試みをする。	当法人にはいくつもの事業所があるので、法人単位でアンケートを作成し実施する。	3ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。